

調査項目「箕面市におけるデマンド交通について」

1.はじめに

北大阪急行南北線延伸後、バス路線の再編等により東西交通の利便性が向上する見込みとなっているが、さらなる公共交通課題の解消に向け、従来の路線バスやオレンジゆずるバスなどではカバーしきれない、新たな需要に対応する施策の提案を行うものとし、「箕面市におけるデマンド交通について」を調査テーマに決定した。

2.調査経過

日時	活動	概要
R5.11.27	勉強会	箕面市役所 大会議室 ・デマンド交通について(講師:地域創造部交通政策室)
R5.12.11	視察	大阪府豊能郡豊能町 ・オンデマンドバスの有償実証実験
R6. 1.23~24	視察	福岡県小郡市 ・「のるーと小郡」「おごおり相乗りタクシー」 福岡県福岡市 ・福岡都市圏における生活交通
R6. 5. 11	地域別意見交換会	中地区(とどろみの森学園)
R6. 5. 11	地域別意見交換会	西地区(コミュニティーセンター西小会館)
R6. 5. 12	地域別意見交換会	東地区(彩都の丘学園)
R6. 6. 6	勉強会	箕面市役所 大会議室 ・AI オンデマンド交通実証運行事業について (講師:地域創造部交通政策室)
R6. 6. 13	分野別意見交換会	箕面市役所 委員会室 ・AI オンデマンド交通実証運行事業の共創プラットフォームの参加者

3.調査報告と提案

(1)箕面市の AI オンデマンド交通実証運行事業について

当委員会では、AI オンデマンド交通の有用性を研究するため、令和5年12月及び令和6年1月に先行事例の視察を行った。豊能町では「交通事業者との共創の取り組みや、地域の活性化や定住の促進などの事業の取り組み」を調査し、福岡県小郡市と福岡市では「地域の特性の反映」「地域の主体性の醸成」など、事業の推進にあたっての重要な視点を調査したが、図らずも、本市においても、令和6年度の予算で「AI オンデマンド実証運行事業」の実施が決定された。概要は以下のとおりである。

・運行条件と利用イメージ

運行想定条件	内 容
乗降場所	箕面・新稲地区(約 50 箇所) 粟生間谷・彩都地区(約 100 箇所)
車 両	定員7名~10 名程度
予約方法	スマートホンアプリ WEB コールセンター
運 賃	300 円/回 ほかに定期・回数券を予定
運賃の支払い方法	クレジットカード 交通系 IC カード 電子チケット QR コード決済 現金など
実施期間	令和6年9月~令和8年3月

<利用イメージ>



(2)共創・共創モデル実証運行事業について

本市の AI オンデマンド交通実証運行事業は、交通を地域のくらしと一体と捉え、地域の多様な関係者との「共創」(連携・協働)により、地域公共交通の再構築を進め、利便性・生産性・持続可能性に取り組む実証事業として、国土交通省の“補助金”などで事業を行うため、今後の共創プラットフォームの参加者と実証運行にあたっての共創内容について意見交換を行った(主な内容については以下のとおり)。

- ・広報活動の協力やデマンド交通に関する問い合わせ事項への対応
- ・店舗との交流機能の追加
- ・街角レポーターさんによる利用発信
- ・福祉的な観点やニーズの反映
- ・利用講習会の開催
- ・乗降場所における配慮

4.おわりに

これまでの調査活動を踏まえ、本委員会として、9月からの実証運行に際し、以下2点の提案を行う。

- ① 更なる利便性の向上を図るため、未利用者への意見聴取を行い、要望を反映すること
- ② 利用状況の検証を多角的に行い、利用特典なども考慮し、実証運行に反映していくこと

本委員会の調査活動及び提案等を活かし、利便性が良く地域の活性化につながる、持続可能な公共交通となることを期待する。